

平成28年度 東京都立足立西高等学校経営計画

1. 目指す学校

本校の教育目標

「生徒一人一人の豊かな人格の形成を目指し、社会の有為な形成者として、人権尊重の精神に基づき、国際社会において平和と文化の進展に寄与することのできる資質を養う。」

特に次の目標を掲げてその実現に努める。

身体を鍛えよう。思いやりの心を身につけよう。知性を高めよう。

創造性を培おう。自主独立の心を養おう。

を踏まえ、次のような学校を目指す。

『安心していきいきと学べる学校』

- ・学習意欲を引き出し、生徒一人ひとりが伸びる授業
- ・個性を活かし、総合的な学力を向上させる教育活動
- ・きめ細かい生徒指導、生徒支援体制の充実
- ・安全で快適な学習環境

『自ら将来を切り拓く力を育成する学校』

- ・3年間を見通しての総合的なキャリア教育
- ・生徒の活動力と創造力、主体性を育成する部活動、学校行事
- ・教育活動全般を通して思いやりの心、豊かな人間性を育成
- ・大学進学等へのチャレンジを全面的に支援し、希望進路実現

『地域から信頼され選ばれる学校』

- ・多面的な地域交流活動と地域の教育力の活用
- ・積極的な情報発信、わかりやすい広報活動
- ・生徒、保護者、教職員の信頼関係に基づく教育活動

2. 中期的目標と方策（H25～28）

本校は3つの土台（「きめ細かい生徒指導」「充実した部活動」「多様な地域交流、地域貢献」）のもとに「安心して充実した3年間をすごせる学校」となっていると認識し、さらに「利用価値の高い学校」「行ってみたい学校」へとステップアップしていくことを目指す。

そのため、**足立西3つのステップアップ（学力アップ・マナーアップ・ウイイルアップ）**を合言葉に「生徒一人ひとりが伸びる学校づくり」を進め、教育活動全体を通して総合的なキャリア教育を実施し、生徒一人ひとりの主体的なキャリア形成力を育成する。

また、上記の目標達成のため、これまでの取組みを点検・整理して、3つの組織化（授業の組織化・キャリア教育の組織化・生徒支援の組織化）を中心に業務の組織化を進め、さらに「OJTの組織的実践」「校内の情報共有の推進」「分掌・学年・教科・企画室の連携強化」を行い学校運営組織を強化し、業務の効率化を進めながら教育活動の質の向上を図る。

目 標	方 策（課 題）			
	H25	H26	H27	H28
1) 生徒一人ひとりが伸びる授業により、学力をワンランクアップ	学カスタンダード策定			学習支援策開始
	授業の組織化（考査・評価・実験実習・授業コンテンツ等の共通化）推進			
	授業規律の徹底（チャイム始業徹底・落ち着いた授業環境保証）			
	個に応じた指導体制確立（習熟度・特進活用等）			特進システム完成
	授業方法の工夫・改善		アクティブラーニングの積極的導入	
	学習意欲向上、学習習慣定着		アドワークの奨励	

2)一人ひとりを活かす生徒指導、生徒支援によりマナーアップ	<u>組織的な頭髪指導、身だしなみ指導の徹底</u> <u>品格、哲学のある指導へ転換</u> <u>遅刻指導等生活習慣指導の組織的取組</u> <u>交通安全指導等安全指導の継続</u> <u>マナー指導検証</u> <u>SNS等情報リテラシー教育の推進</u> <u>マナーアップ計画策定、実施(キャリア教育全体計画への位置づけ)</u> <u>SCを活用した生徒支援体制構築</u> <u>SCを活用した生徒支援展開</u>
3)総合的なキャリア教育の組織的実践	<u>キャリア行事の整理安定化</u> <u>キャリアウィークを中心とした組織化推進</u> <u>HR・総合的な学習の時間活用の組織化・計画化</u> <u>全体計画に基づくキャリア教育の組織的実践と改善</u> <u>情報収集・情報発信の改善</u> <u>教員個々の進路指導力向上</u> <u>ベンチマーク活動の実践と活用</u>
4)特別活動を通じた意志の力、主体性の育成	<u>部活動加入率・定着率の向上</u> <u>部活動多様化魅力化推進</u> <u>部活動生徒会によるボランティア活動の継続、発展</u> <u>学校行事全体計画の見直し検討</u> <u>SAカードを活用した目標管理支援</u> <u>新体系の学校行事実施</u> <u>生徒主体の学校行事運営の推進と行事内容の質の向上</u>
5)学校の教育力・組織力の向上と募集対策活動の改善	<u>OJTの組織化</u> <u>連携型OJTの試行</u> <u>組織的OJT体制の確立と実践</u> <u>校内情報共有推進と分掌・学年・企画室連携の強化</u> <u>情報共有策実施</u> <u>ICT機器を活用した校務の効率化と情報管理の徹底</u> <u>募集対策活動改善</u> <u>ホームページの魅力化推進</u>

3. 今年度の取組目標と方策

<教育活動の目標と方策>

中期計画完成年を迎え、<生徒がもっと伸びる学校へ、多様な魅力ある学校へ>をテーマとし「学力・マナー・ウイルのステップアップ」を目指した方策の具体化をさらに進展させ、「総合的なキャリア教育を実践する学校」としての組織的取組を定着させる。

学校運営については<教職員の相互理解に基づく組織的な協業体制の確立>をテーマに具体的な教職員間の情報共有策を採り入れミドルアップダウンに基づき、調整力・判断力を磨いて組織力を強化し、業務の効率化を図りながら、利用者視点に立った教育活動の質の向上の推進を継続する。都全体の重点項目であるいじめ体罰根絶・授業規律向上・個人情報事故ゼロ・オリンピックパラリンピック教育推進・道徳教育推進等にも積極的に取組む。

生徒一人ひとりの人格を尊重した品格があり哲学のある生徒指導・生徒支援へと転換する。高校生活に対する生徒の主体的な取組みを支援し、一人ひとりの個性を活かしたキャリア形成を目指す。さらに、<部活動を中核とした充実した3年間の保証>を目指し部活動の多様化、魅力化、主体的な活動化を推進する。

【学習指導】

○ 参加型授業、「自分でわかる授業」への改善

- ・生徒を伸ばす「考える」機会の多い授業へと転換し「自分でわかる」機会を保障する。
- ・グループ学習や課題探究学習等により、思考・判断・表現をくりかえし経験させる。
- ・ICT機器や視聴覚教材を効果的に活用し学習意欲を喚起すると共に理解を支援する。

○ 学習環境の向上

- ・授業ミニマムを遵守し、質の高い授業準備を定着させて学習環境をさらに向上させる。

- 個に応じた指導推進と基礎学力定着
 - ・習熟度別の目標を明確化し、生徒個々に応じて多面的に学力アップを支援する。
 - ・本校独自の特進システムの基盤を完成させる。(PT)
 - ・学力スタンダードを活用し目標を明確化して、授業内容・方法を組織化・共通化する。
- 学習意欲向上、学習習慣定着
 - ・土曜事業を活用し学生チューターによる支援を導入、実施する。
 - ・小テスト、週末課題等の工夫により家庭学習を定着させる。
 - ・「アドワーク」のための学習課題、講習等を準備し活用させ主体的な学習を推進する。

【生徒指導】

- 組織的な品格のある生徒指導の推進
 - ・指導哲学を確認し、品格のある生徒個々の人格を尊重した生徒指導へと昇華させる。
 - ・身だしなみ指導、遅刻撲滅指導を中核に全校体制でマナーアップ指導に取り組む。
 - ・ウイークリーキャンペーンを活用し、生徒のマナーアップ・ウイールアップのための取組みを分掌・学年および個々の教員、生徒個々が実践する。
- 安全指導の継続、繰り返し実施による徹底
 - ・情報リテラシーの向上のための指導を外部の教育力活用も含めて繰り返し徹底する。
 - ・自転車利用に係る交通法規遵守の指導を繰り返し徹底する。
 - ・登下校時および校内安全確保のための多面的な指導を実施し徹底する。
- 生徒支援体制の組織化
 - ・SC を中核とした生徒支援体制を活用し、一人ひとりの生徒に目を配り心を配り多様な生徒に向き合った支援を行う。
 - ・SC や外部の教育力を活用し教員の生徒支援のスキルアップを進める。

【キャリア教育】

- キャリア教育の組織化・計画化
 - ・キャリアウイークを中心にキャリア教育の組織化・計画化を進行する。(PT)
 - ・「人間と社会」、総合的な学習の時間やHR の活用に組織的に取り組む。
 - ・最新のキャリア情報を積極的に収集し、共有して、随時生徒・保護者に発信する。
 - ・SA カードによる目標管理システムを導入し生徒の主体的な高校生活を支援する。
 - ・各学期末期間を総合的なキャリアウイークと組織的計画的に有効活用を推進する。
- 進路（出口）指導の質的向上
 - ・きめ細かく生徒・保護者への面談等を実施し、個々の生徒への理解と支援に努める。
 - ・教員個々の進路指導カスキルアップのための外部情報収集活動を奨励する。
 - ・高大連携や公的機関との連携等外部の教育力の活用を推進する。
 - ・大学進学希望者にはセンター・一般受験を活用しての中堅私大への進学を目標とさせる。
 - ・専門学校進学希望者には、将来を切り拓くことに繋がる学校選択力を育成する。
 - ・就職希望者には、希望に沿い継続安定性が見込まれる就職内定を目指させる。
 - ・早期からの進路準備のための多面的な講習、指導を実施する。

【特別活動】

- 部活動のさらなる魅力化と多様化
 - ・部活動の多様化を含めて魅力ある部活動への進化を推進する。
 - ・運動系部活動では望ましい生徒モデルの育成を主眼とする。

- ・文化系部活動では地域に発信し貢献できる生徒の育成を目指す。
- ・部活動・生徒会による地域交流・地域貢献活動を質・量ともにさらに充実させる。
- 学校行事
 - ・体育祭、文化祭を中心に生徒主体の行事企画運営を推進する。
- 【人材育成】
- OJT 推進
 - ・3つのチャンネルを活かし、個々の目標を明確化し、意図的・計画的にOJTを実施する。
 - ・教員間の相互授業参観を日常化し、他校種と連携したOJTの取組みを推進する。
- 研修の奨励
 - ・校内研修の機会を増やし、外部機関による研修への参加等の自己啓発活動も奨励する。
- 【募集対策活動】
- 利用者本位の視点での募集対策活動の改善
 - ・資料・来校者対応の利用者目線での改善、ホームページの魅力化をさらに進める。
 - ・組織的・戦略的にマーケティングリサーチを継続し活用する。
- 【学校経営・組織体制】
- 校内情報共有の推進
 - ・今日の連絡、情報共有のための校内研修実施等により情報共有を推進する。
 - ・TAIMS、サーバー、データベースを活用した情報発信、交流、蓄積を奨励する。
- 組織連携の強化
 - ・分掌、学年、教科、企画室の相互連携を推進し協業体制を強化する。
- 危機管理の徹底
 - ・個人情報管理、サービス、生徒事故等の事故未然防止に総力を挙げて取り組む。
 - ・外部者の訪問管理を徹底し、安全な学習環境を確保する。
- その他
 - ・費用対効果の観点を持って、予算の有効活用と適切な時期の執行を徹底する。
 - ・安全で快適な学校環境を維持するための施設点検、施設管理を徹底する。
 - ・早期から綿密な準備を進め、入学選抜業務に教職員の総力を結集し円滑に進行する。

＜重点項目の数値目標＞（カッコ内は前年度）

- ☆学力アップ策、マナー・ウイルアップ策教員一人各1取組み以上実施
- ☆中途転退学者5名以内（7名）
- ☆学力不振による原級留置者ゼロ（0名）
- ☆授業満足度肯定回答72％（67％）
- ☆進路指導満足度肯定回答80％（72％）
- ☆各種検定資格取得70名（45名）
- ☆特別指導ゼロ（6件）
- ☆遅刻前年度比10％減（5650）
- ☆自転車事故ゼロ（重大事故0）
- ☆年間皆勤生徒数100名（60名）
- ☆進路未決定者ゼロ（進学準備除き5名）
- ☆センター試験受験者50名（50名）
- ☆大学短大合格者数100名（90名）
- ☆一般受験による大学合格率60％（52％）
- ☆就職率100％（100％）
- ☆長期休業期間講習参加生徒数延べ600名（540名）
- ☆生徒会・部活動によるボランティア活動20回実施（のべ18回）
- ☆中進対志望倍率1.2倍（1.11倍）
- ☆一次入選応募倍率1.3倍（1.25倍）
- ☆学校説明会参加者2000名（1908名）
- ☆学校HP更新150回（130回）・アクセス年間17万回（約16万回）
- ☆個人情報管理事故ゼロ、サービス事故ゼロ、入選事故ゼロ（0）